



仕事紹介

あいなん仕事紹介 その⑩

【町内で生き生きと仕事をしている方を紹介します】

order cake MUMU 魚崎美沙さん（平婆）



イチゴがのった 思い出の誕生日ケーキ

世界に一つだけのオーダーメイドケーキを届ける魚崎美沙さん。広島ビジネス専門学校製菓・パティシエコースを卒業後、高知県宿毛市のタン・プル・タンに10年ほど勤務し、パティシエとしての技術に磨きをかけました。

絵を描くことや動物が大好きな魚崎さんは、「トリマーや動物看護師になることも考えたけど、母が毎年誕生日ケーキを手作りしてくれたように、

自分も母親になった時、子どもにケーキを作ってあげたいと思った」とパティシエを目指したきっかけを話します。

働くママとして仕事と子育ての両立を図っていた魚崎さんですが、同僚の開業をきっかけに自身のワークライフバランスを見直し、独立の道を選択。子どもたちとの時間をより確保できるように、2014年に「order cake MUMU」をオープンさせました。

特別な日を彩る。プレゼント

ケーキの予約はラインやインスタグラムなどのSNSを利用して受けることが多く、希望のデザインや形など詳しい聞き取りを行います。「なるべくお客さまの希望通りにしたいので、不可能なものには提案を提案させていただきます。お任せいただく場合はケーキの種類や予算を決めていただき、主役の方をイメージしてお作りします」と特別な日の思

い出に笑顔と感動を引き出すケーキ作りに努めています。

受け渡し前の2〜3日前にはクッキーやマジパンなどの準備に取り掛かり、スポンジの焼き上げから生クリームでデコレーションして仕上げるまで全て一人でこなす魚崎さん。「大変な作業もあるけど、作り終えた達成感や受け渡しの時に喜んでもらえる、全ての苦労を忘れてしまう」と話し、写真や動画を通してお客さまから届く子供たちの笑顔が仕事を続けていく活力になっています。



ケーキ作りを楽しむ魚崎さんは、ウエディングケーキなどの注文を受ける際にも図案は描き出さず、イメージを膨らませせ頭の中で3Dデザインを作成していきます。立体ケーキを

作る工程や花屋さんコラボして組み立てていく作業はまるで、食べられる工作です。

自身が体調を崩した過去を振り返り、「自分のせいで絶対に注文をキャンセルすることのないよう、体調管理に気を使っている」と仕事への取り組み方を見つめ直した魚崎さん。「流行りのケーキやスイーツにはどんどんチャレンジし、大好きな猫をモチーフにしたクッキーや焼き菓子などを店舗で販売できるようにしていきたい」とこれからの目標を話しました。

